

## セミナー概要

開催日時：2009年10月31日（土）～11月1日（日）

10月30日（金）18:00～20:00（前夜祭）

10月31日（土）9:30～11:30（フィールド型分科会）

10月31日（土）13:00～18:20（開会・分科会）

10月31日（土）18:40～20:20（懇親会）

11月1日（日）9:30～15:00（分科会・閉会）

メイン会場：釧路キャッスルホテル（北海道釧路市大川町2-5、Tel:0154-43-2111・FAX:0154-42-0318）



◎参加費：10,000円（当日資料代を含む）

◎懇親会費：5,000円

◎昼食・弁当：1,000円

◎定員：600人

### 参加申込の方法

添付の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、  
受付旅行会社（トップツアー株式会社釧路支店）へ、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

### 参加申込に関するお問い合わせ先

トップツアー株式会社釧路支店

〒085-0015 北海道釧路市北大通4丁目3番地 若原ビル1階

TEL:0154-24-6131 FAX:0154-24-6133

営業時間 平日9:30～17:40 土曜9:30～12:30

### 内容に関するお問い合わせ先

「第5回地域密着型福祉全国セミナー in くしろ」実行委員会

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207（CLC 東日本）

TEL:022-719-9240 FAX:022-719-9251

E-Mail:clc@clc-japan.com

URL:http://www.clc-japan.com

釧路発！

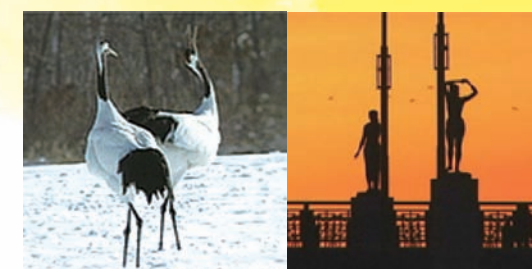
# これからの地域と福祉のありようを 創造・提案する全国セミナー

第5回地域密着型福祉全国セミナー in くしろ

ここ  
釧路でしか  
聞けない!!

いま全国で話題の  
まち  
地域づくりの達人と  
第一線の研究者が大集合!!

市民の希望と元気と行動が「まち」を変える!



釧路湿原のタンチョウ 釧路 幣舞橋（ぬさまいばし）

## 2009年10月31日（土）～11月1日（日）

会場：釧路キャッスルホテル（北海道釧路市）、釧路市内各所

主催：第5回地域密着型福祉全国セミナー in くしろ実行委員会

共催：釧路市、釧路市社会福祉協議会、全国コミュニティライフサポートセンター

後援：北海道・北海道教育委員会・釧路市教育委員会・北海道市長会・北海道町村会・全国社会福祉協議会・北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉士会・釧路公立大学地域経済研究センター・釧路短期大学・釧路地区社会福祉協議会連絡協議会・釧路支庁管内社会福祉協議会職員連絡協議会・釧路市共同募金会・釧路市連合町内会・釧路市民生委員児童委員協議会・釧路市老人クラブ連合会・釧路市女性団体協議会・釧路身体障害者福祉協会・釧路手をつなぐ育成会・釧路市ボランティア連絡協議会・北海道社会福祉士会釧路地区支部・北海道介護福祉士会釧路地区支部・釧路地区介護支援専門員連絡協議会・北星学園大学同窓会釧路支部・北海道新聞釧路支社・釧路新聞社・朝日新聞釧路支局・読売新聞釧路支局・毎日新聞報道部釧路・日本経済新聞社釧路支局・共同通信社釧路支局・時事通信社釧路支局・NHK釧路放送局・HBC釧路放送局・STV釧路放送局・HTB釧路支社・u h b釧路支社・TVh釧路・FMくしろ・福祉新聞・介護新聞・シルバー新報・シルバー産業新聞（予定）



## 開催趣旨

北海道の東部・太平洋岸に位置する釧路市は、人口約18万7千人、世帯数9万3千世帯、高齢化率24.0%の都市です。2005年10月には3市町(釧路市・阿寒町・音別町)が合併し、広大な「釧路湿原」と「阿寒」の2つの国立公園を有する新生釧路市となりました。この恵まれた豊かな自然を守り、そこに住む人たちが安心して暮らせる「まちづくり」が、着実に進みつつあります。

現在の釧路市は、有効求人倍率は0.27で、市民21人に1人が生活保護を受給している現状にあります。今回のセミナーでは、釧路市発祥の「SOSネットワーク」や「自立支援プログラム」、「コミュニティハウス」など、全国の超先駆的な実践との交流を通じて、新たな地域と福祉のありようを創造し、提案します。

## ようこそ釧路へ！ フィールド型分科会

### 1 「今、介護予防・健康づくりが熱い!! “ふまねっと” “わかがえりレッスン”」

現在、「住民参加型」「官民一体型」の介護予防・健康づくりが全市的に広がりをみせています。

誰もが元気で自分らしい生活を続けたいというのが願いです。また、サービスの受け手からプロモーション(昇格)し、担い手へという仕組みが注目です！

北海道教育大学釧路校で生まれた『ふまねっと運動』、釧路市・釧路市社会福祉協議会が推進する『わかがえりレッスン』をこの機会に体験しませんか？

元気の釧路市民と楽しい時間を共有できること間違いなし！



- 日時：2009年10月31日(土) 9:30～11:30
- 場所：釧路市民活動センター「わっと」(北大通4-1)
- 定員：50人程度
- 体験指導：ふまねっと946、社協健康づくりサポーター 釧路市・保健師、いきいきサポーターズあゆみ

### 2 「『SOSネットワーク』発祥の地！徘徊から希望を取り戻そう！」

「SOSネットワーク」は、1994年釧路に誕生しました。釧路地区障害老人を支える会(たんぼぼの会)、市町村や保健所、警察署、FMラジオ局やハイヤー協会など関係機関が連携をして、道迷いなどで所在がわからなくなった認知症高齢者をすみやかに発見・保護し、その後の生活を支援していくシステムとして地域に根づいてきました。

釧路発の「SOSネットワーク」を、「介護劇」と「トークセッション」をとおして現状と成果をわかりやすくお伝えします。



- 日時：2009年10月31日(土) 9:30～11:30
- 場所：釧路キャスルホテル(大川町2-5)
- 定員：80人程度
- プログラム：9:30～9:40 開会・オリエンテーション  
9:40～10:40 介護劇「きの子ばあちゃんSOS!!」  
10:40～11:30 トークセッション

## 地域食堂

### 3 「住民どうしの絆が希望の証です！」

特定非営利活動法人わたぼうしの家が運営している3つを紹介します。

認知症高齢者のグループホーム「さんぼみち」は、建設前より多くのスタッフやボランティアが話し合いをして住みやすい環境づくり、ユニバーサルデザインや特に地域住民との関わり(交流)に努めました。「さんぼみち」ならではの特徴を見てください。

高齢者生き生きグループリビング「ほがら館」は、いつまでも元気で心豊かで自律した生活をするために、9人の仲間と助け合いながら共同生活を営むことを目的とした共同住居です。

「地域食堂」は「地域の人が気軽に集える場所が欲しい」との声を反映し5年前に開設しました。『集う・食べる・語る』がテーマで、地域のボランティアが主となり、地域交流の場として独居高齢者の生きがいづくりのみならず、子育て中のお母さんたちの集いの場となっています。

毎週月曜日に、コーヒ一片手におしゃべりをしたり、食事を愉しんだりして、親睦を深めています。皆さん、ぜひ地域住民として参加しませんか。



- 日時：2009年10月31日(土) 9:30～11:30
- 場所：ほがら館(浦見4-3)さんぼみち(千歳町13-7)地域食堂(弥生1-1)
- 定員：20人程度〔送迎あり〕
- プログラム：9:30～10:00 ほがら館  
10:10～10:30 さんぼみち  
10:40～11:30 地域食堂  
※地域食堂で昼食をとります。お一人320円

10月30日(金) 18:00～20:00

## 前夜祭 ウェルカム居酒屋 『炉ばた』『ざんぎ』発祥の地、釧路にようこそ!!



釧路フィッシャーマンズワーフMOO2F・港の屋台

## おまかせコース

釧路川や幣舞橋を見ながら、「釧路フィッシャーマンズワーフMOO」の屋台村で交流しましょう。(残念ながらラッコのクーちゃんはもう居ませんけども…)

- ◎集合時間：18:00～各自で集合してください。
- ◎定員：なし
- ◎場所：釧路フィッシャーマンズワーフMOO2F・港の屋台(錦町2-4)にて  
※仕切りは自由・お代は各自負担です。  
※なお、スタッフも講師も最初はここで交流します。

## 探究心コース

ホームページやガイド片手に釧路の街をとことん探索しましょう。(残念ながらスタッフは同行できませんが…)

- ◎探索・帰宿時間：自由です。
- ◎場所：釧路市民活動センター「わっと」(北大通4-1)を起点にすることをお勧めします。(裏面の地図を参照してください)

### 4 「コミュニティハウス冬月荘 希望の拠点をめざして！」



- 日時：2009年10月31日(土) 9:00～11:30
- 場所：コミュニティハウス冬月荘(米町2-9)
- 定員：20人程度〔送迎あり〕
- ワークショップ：冬月荘の皆さんとともに。

## 地域福祉実践計画

### 5 「行政の計画と協働で人々の希望を叶えよう！」

釧路市社会福祉協議会は、釧路市と協働で「地域福祉計画」(行政)と「地域福祉実践計画」(社協)を策定し、昨年度からともに5ヶ年の計画がスタートしています。

特に3市町合併を経て初めての計画だけに、地域での「住民懇談会」も協働で行いました。両計画では、「災害時要援護者安否確認・避難支援モデル事業」の実施や「釧路市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の作成が盛り込まれるなど、防災を重視したものになっています。

先進地の計画には及びつきませんが、ともに地域福祉のあり方を考えましょう。



- 日時：2009年10月31日(土) 9:30～11:30
- 場所：釧路市総合福祉センター(旭町12-3)
- 定員：60人程度
- プレゼンテーション&ディスカッション：計画策定に関わった方々とともに。
- コメンテーター：両計画推進協議会 会長 西塔正一さん(釧路短期大学学長)

### 6 「小規模多機能型居宅介護事業所視察ツアー 小規模多機能だからこそその希望が光る！」

介護サービスの新潮流となっている「小規模多機能型居宅介護事業所」を視察します。地域によって、さまざまな特徴がありますが、特に小規模多機能型への期待と役割について、ともに考察しましょう。また、市内全7事業所が集う連絡協議会の運営も学びます。

- 日時：2009年10月31日(土) 9:30～11:30
- 場所：Aグループ ①小規模多機能の家桜ヶ岡(桜ヶ岡1-9) ②ケアポート和喜あいあい(愛国東2-1) Bグループ ①多機能型グループホームかおり(鳥取北3-12) ②小規模多機能ホームおたっしやサロンなごみ(愛国西2-5)

- 定員：20人程度〔送迎あり〕(一つのグループ10人)
- ナビゲーター：Aグループ・小規模多機能の家桜ヶ岡 代表取締役 渡邊とし子 Bグループ・多機能型グループホームかおり 施設長 丸尾正志 各事業所の管理者・職員の皆さん





10/31

土

12：45～18：20

12：45～13：00

オープニング

釧路子どもミュージカル「キッズロケット」



●釧路子どもミュージカル「キッズロケット」

1997年に、創作子どもミュージカル「青い星は誰のもの」が釧路で上演され、その舞台に参加した子どもたちや父母、スタッフが母体となり設立。限らない可能性に満ちている子どもたちに、子どもミュージカル参加という機会を提供することで、子どもたちの情操教育を目指す。

13：00～13：20

開会

主催者あいさつ

実行委員長

清水 幸彦

歓迎あいさつ

釧路市長

蝦名 大也

14：40～18：20

分科会

A会場

14：40～16：20 ディスカッション A-1

ケアする人にもケアを～介護する息子の思い～

人は誰もが古い、老いて初めてその辛さを実感するものです。本人はもちろん、支える家族も人生の大きな岐路に立つことになります。自力で苦難を乗り越えていく方や耐えられず命を絶つ方、社会やマスコミなどはどちらも大きくクローズアップしますが、けっして見逃すわけに行かない永遠の課題です。とかく、当事者だけの深刻な問題だけでなく、「地域で支える」力が足りないのではないのでしょうか。『息子介護～40 息子のぐうたら介護録』の著者である鈴木宏康氏と、自ら運営する宅老所で、ほかの利用者とともに父親も介護する井戸端げんきの伊藤英樹氏を迎え、ナマの「息子介護」に触れ、そこを支える、市民活動としての「すずの会」の実践から「家族介護」と地域密着型福祉の可能性を考えます。

★鼎談

息子介護（神奈川県在住）

井戸端げんき（千葉県）

すずの会（神奈川県）

著者 鈴木 宏 康

代表 伊藤 英 樹

代表 鈴木 恵 子

16：20～16：40 休憩

16：40～18：20 ディスカッション A-2

制度だけでは解決できない課題を、  
地域住民と専門職がいっしょになって  
解決する地域ケアの実践

「ディスカッションA-1」において象徴的に取り上げられた「制度だけでは解決できない課題」。そこを進展させ、地域住民による「地域の福祉力」と、専門職（地域包括支援センター／在宅介護支援センター）による「福祉の地域力」が、二律背反（トレードオフ）にならず、合力となって「地域福祉の推進力」を醸し出すには何が必要か。また、その2つの力をつなぐコミュニティーソーシャルワーカー（CSW）の役割とはどのようなことなのかなど、さまざまな立場からのアピールにより、地域密着型福祉の展望を見出します。

★パネラー

すずの会（神奈川県）

豊中市社会福祉協議会（大阪府）

明石市望海在宅介護支援センター（兵庫県）

代表 鈴木 恵 子

地域福祉課長 勝 部 麗 子

管理者 永 坂 美 晴

★サポーター

厚生労働省大臣官房人事課

参事官（人事担当）

蒲 原 基 道

★コーディネーター

神戸学院大学総合リハビリテーション学部

准教授 藤 井 博 志

13：20～14：20

記念講演

「地域創造と福祉」

★講師

釧路公立大学

学 長

小 磯 修 二



大阪市出身。1972年京都大学法学部卒業、北海道開発庁（現国土交通省）等を経て、1999年6月に釧路公立大学地域経済研究センター長に就任。2008年4月より現職。地域政策研究の分野において、内外の研究者、行政官、民間人を機動的に集め、実践的に地域課題に応える研究プロジェクトを展開。また、中央アジア地域等で、地域開発分野での国際貢献活動にも従事。環境再生や建設業の新産業転換を目指す大学発ベンチャーの設立、経営にも関わる。国土審議会専門委員、国際協力機構（JICA）キルギス国イシククリ地域総合開発支援委員会委員長等を歴任。現在は、北海道観光審議会会長、北海道市町村合併推進審議会会長、釧路川流域委員会委員長、（財）日本交通公社専門委員等を務める。最近の著書には、「戦後北海道開発の軌跡」（2007年6月、北海道開発協会）、「地域自立の産業政策」（2007年11月、イマジン出版）がある。

14：20～14：40 休憩

B会場

14：40～16：20 釧路発ディスカッション B-1

なぜ今、コミュニティハウス冬月荘なのか？

新しい地域福祉のあり方を探るため、福祉のユニバーサルデザイン化と循環型地域福祉を目指して、既存の福祉分野枠にとらわれないモデル事業を実施してきた「コミュニティハウス冬月荘」。多様な人たちの自立のため「日中活動支援」「居住支援」「仕事づくり」を進めています。釧路発祥の地、米町に建つ「新しい地域福祉拠点」。そこには、さまざまな生活課題をかかえる学生や障がい者、低所得者、高齢者などが集い、遊びや語り合い、勉強や食事を楽しむ、多様なナチュラルケア（支える・支えられるという関係からの解放）を映像とともに辿ります。

★プレゼンテーション

冬月荘を担う人たち

★コメンテーター

読売新聞東京本社

編集委員 青 山 彰 久

厚生労働省大臣官房人事課

参事官（人事担当） 蒲 原 基 道

★ナビゲーター

地域生活支援ネットワークサロン（北海道）

理事・事務局顧問 日 置 真 世

（北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター子ども支援研究部門助手）

コミュニティハウス冬月荘（北海道）

地域福祉コーディネーター 高 橋 信 也

16：20～16：40 休憩

16：40～18：20 釧路発ディスカッション B-2

希望を持って生きる釧路チャレンジ  
～地域に生きる生活保護受給世帯の自立支援～

NPO法人などの協力を得て、公園清掃、農園や障がい者作業所の手伝いなどのボランティア、就労体験、就労へと段階的にステップアップを目指し、自立を促す釧路市の自立支援プログラム。生活保護を受ける母子家庭を対象に2004年度からスタートし、2006年度から対象を全受給世帯に拡大しました。パソコン、介護ヘルパーなど資格取得講座なども活用している正に旬な事業に釧路市の希望を模索します。

★パネラー

東京市政調査会

NHK福井放送局

（元ワーキングプア3取材班報道記者）

釧路市福祉部生活福祉事務所

★コーディネーター

法政大学現代福祉学部

主任研究員 五 石 敬 路

デスク 田 伏 由 美

生活支援主幹 櫛 部 武 俊

教 授 杉 村 宏

●豊中市社会福祉協議会

人口約39万人の大阪府豊中市社会福祉協議会では、市内7ブロックに14人のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、小学校区単位に校区福祉委員会の組織化や当事者団体の組織化などをすすめている。「福祉なんでも相談窓口」を中心に、地域で支援が必要な人がさらに困難な状況にならないよう各機関が連携し、地域社会全体で支える仕組みである、「地域福祉ネットワーク会議」や「ライフセーフティネット総合調整会議」が構築されている。



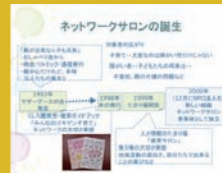
●明石市望海在宅介護支援センター

3つの小学校区をカバーする「明石市望海在宅介護支援センター」は、人口約31,000人、約14,000世帯、高齢化率約20%の兵庫県明石市望海地区で、要介護者とその家族の暮らしを支えるために、区域内の保健・医療・福祉関係者が一堂に会する「望海地区在宅サービスゾーン協議会」を設置。健康・防災教室、市民フォーラム、親子福祉体験などを開催し、安心・安全に暮らせる地域づくりを目指している。



●地域生活支援ネットワークサロン

地域生活支援ネットワークサロンは、2000年に特定非営利活動法人として独立。それまでの主なテーマであった障がい児の子育てに限らず、幅広く福祉の「まちづくり」を目指す。誰もが主体的に生き生きと安心して生活できる「コミュニティハウス冬月荘」をはじめ、数多くの活動拠点をもち、地域における生活支援事業を展開している。



●釧路市自立支援プログラム

生活保護率の高い釧路市で、2006年度より、受給世帯が自立した生活を送ることを目指して、自立支援プログラムが取り組まれている。NPO法人などの協力を得て、就労体験を通じた自立支援を展開する一方で、受給世帯の中学3年生の高校受験のための勉強会にも取り組む。生活保護の相談や受給業務にとどまらず、ケースワーカーと地域生活支援員が連携し、あらゆる社会資源を活用した独自の支援プログラムが全国の注目を集めている。

18：40～20：20

懇親会

●すずの会

ボランティアグループすずの会は、高齢化率17.2%、約28,000人が暮らす川崎市宮前区野川地区で、助け合える活動をしようと1995年に発足。「普通のおばさんグループ」であることにこだわり、専門職が投げ出す難ケースにも対応。ご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」の活動は必見！。



都市部でヒット「ダイヤモンドクラブ」

【平成19年度】

・個人宅 24ヶ所

（185回 1388名）

・集会場、商店の店先など3ヶ所

（31回 292名）

総計 27ヶ所

（216回 1680名）



●息子介護

「介護者は修行僧じゃない!」仕事と介護の両立に疲れ、会社を辞めて、母の在宅介護に専念する息子。排泄、徘徊、騒音、時間の束縛…たばこの一服が安らぐひととき。嫁なし、仕事なし、介護あり、の40歳代息子の本音をたっぷり語る。もっと知りたい方は、「息子介護（1,260円／CLC）」を購入のうえ、お読みください。



●井戸端げんき

井戸端げんきは、シャッター通りとなってしまった千葉県木更津市の商店街に、2002年特定非営利活動法人井戸端介護が開設した宅老所。民家を活用したデイサービスからスタートし、利用者の希望から、共同民家「かつばや」や知的障がい者デイサービス「みちばたヨイショ」を開設。これらは、日課にとられない、ゆるやかな時間の流れの中で誰でも受け入れ、地域のオアシス的存在となっている。







9:30 ~ 15:00

9:30 ~ 11:30  
分科会

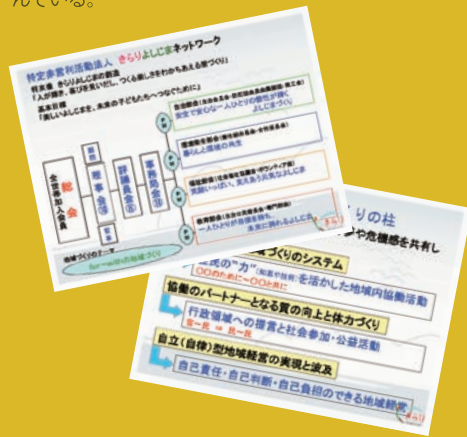
#### ●なんぐん市場

特定非営利活動法人なんぐん市場は、2006年に障がい者の就労支援、地域振興、環境保全を目的として、愛媛県愛南町で設立された。現在は、「観葉植物のレンタル」「山出憩いの里温泉の運営」などの事業に取り組んでいる。これらの事業が成長し拡大することで、地域が活性化され雇用機会が拡大することを目指している。



#### ●きらりよしじまネットワーク

人口約 2,900 人の山形県川西町吉島地区では、地域が抱えるさまざまな課題を、地域住民が主体となって解決していくために、2007 年、地区の全世帯が加入する特定非営利活動法人きらりよしじまネットワークを設立した。「美しいよしじまを、未来の子どもたちへつなぐために」を目標に、防災・防犯、子育て・高齢者支援、産業の創出、環境保全などに取り組んでいる。



#### ●塙山学区住みよいまちをつくる会

塙山学区住みよいまちをつくる会は、1980 年、茨城県日立市の新興住宅地にある塙山小学校区で発足した。全住民対象のアンケート調査を行い、郵便局の誘致などの運動を展開。課題を見つけるたびに事業が増え、活動内容は健康づくりから環境整備、子育て支援や介護予防、防犯、防災まで多彩。当初から助成金をあてにせず、住民から活動資金を集金する方法をとる。1989 年、住民みんなで策定した「塙山コミュニティプラン」を皮切りに、次々と独自の地域福祉計画を策定している。



## A 地域振興・地域循環型のまちづくりで 支えられる人も支える側に ～新しい地域の福祉の実際を紐解く～

### 分科会

高齢者も障がい者も支えられるだけの人ではありません。NPO 法人の知恵と底力があれば、支えられる人でも、働いて自立することもできます。北海道と愛媛で、「結果」を出した実践から地域振興・地域循環型のまちづくりを紐解きます。

#### ★パネラー

なんぐん市場（愛媛県） 理事長 野 敏 宏  
地域生活支援ネットワークサロン（北海道）

理事・事務局顧問 日 置 真 世

（北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター子ども支援研究部門助手）

#### ★コーディネーター

日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之

## B 希望や元気が、地域を変える！ 地域の福祉力がアップする！ ～行政を頼らない町内会・学区の地域づくり～

### 分科会

町内会や学区の活動には、小地域だからこそそのローカルパワーが満ち溢れています。地域の全戸が加入する官民協働のまちづくりや地域の実践計画を策定し実行するなど、「行政を頼りにしない地域づくり」の実践や、防災・防犯などの活動も含め、地域におけるさまざまな取り組みを学びます。

#### ★パネラー

きらりよしじまネットワーク（山形県） 事務局長 高 橋 由 和  
塙山学区住みよいまちをつくる会（茨城県） 会 長 西 村 ミチ江  
やねだん（鹿児島県） 代 表 豊 重 哲 郎

#### ★コーディネーター

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 准教授 藤 井 博 志

11:30 ~ 12:15

## 昼食（ランチョンセミナー）

### いのちの力

## ～タイガ・ココア保育日記から～

★講師 釧路市動物園 園長 山 口 良 雄



#### ●タイガとココア

2008年5月、釧路市動物園でアムールトラが誕生しました。「タイガ」と「ココア」と名づけられたが、2 頭ともに両手足が曲がっており、立ち上がっての歩行が困難と判断されました。現在は、自力歩行もできるようになり、全国からの声援を背に新動物舎で元気に育っています。

13:00 ~ 14:50

## まとめのディスカッション

## 希望と元気のもてるまち！支え合う小地域！の 育み方～希望と元気で地域の福祉に活力を～

セミナーの開始から分科会リレー報告までを振り返り、その成果と残された課題を模索し、釧路がさらに元気を蓄え、希望へ向かって踏み出すきっかけを創造するとともに、釧路から全国津々浦々の地域密着型福祉の現場にパワーが届くようにメッセージを発信します。また、向かうべき日本型福祉を、グローバルシンキングとローカルアクションのつながりのなかで提言し、参加者それぞれの明日の実践を生き生きと展開できるよう議論します。



### 分科会

在宅サービスと施設サービスはそもそも別物ではなく、地域の中に施設があり、地域の中に在宅の暮らしがあります。在宅と施設が連なると高齢者や障がい者の願いに限りなく近づいていくのではないのでしょうか。住み慣れた地域で暮らしたい、という願いに応えるサービスのあり方を考えます。

#### ★パネラー

井戸端げんき（千葉県） 代 表 伊 藤 英 樹  
明石市望海在宅介護支援センター（兵庫県） 管理者 永 坂 美 晴  
特養・レインボーハイツ（北海道） 施設長 石 丸 司

#### ★コーディネーター

特養・美瑛慈光園（北海道） 施設長 安 倍 信 一



### 分科会

課題が見つかる、課題を持つ人々が集う、その人たちを支える人々も集う、課題を克服するパワーが宿る。社会福祉協議会の「協議」は、そのためのものであるはず。社協に希望はあるか、未来はあるか、地域密着型福祉を担えるのか、社協の可能性について考えます。

#### ★パネラー

全国社会福祉協議会 地域福祉部長 渋谷 篤 男  
豊中市社会福祉協議会（大阪府） 地域福祉課長 勝 部 麗 子  
釧路市社会福祉協議会（北海道） 事務局長 小 野 信 一

#### ★コーディネーター

旭川大学保健福祉学部 教 授 白 戸 一 秀

12:15 ~ 13:00

## フィールド型分科会・分科会リレー報告

10月31日(土)午前中に展開される、釧路の地域密着型福祉の旬を届けるフィールド型分科会の開催結果を、それぞれの担い手から映像を基本に全体報告します。

#### ★パネラー

なんぐん市場（愛媛県） 理 事 長 野 敏 宏  
柳谷町内会「やねだん」（鹿児島県） 会 長 豊 重 哲 郎  
釧路地区障害老人を支える会（北海道） 会 長 岩 淵 雅 子

#### ★サポーター

内閣府 政策統括官（経済財政運営担当） 山 崎 史 郎  
全国社会福祉協議会 地域福祉部長 渋谷 篤 男  
釧路公立大学 学 長 小 磯 修 二

#### ★コーディネーター

日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之

#### ●やねだん（柳谷町内会）

鹿児島県鹿屋市にある「やねだん（柳谷町内会）」は、世帯数約 120 世帯、人口約 300 人、高齢化率約 40%の集落で、家畜の糞尿の匂いが消える土着菌の製造・販売や、地域住民が参加しての休耕地を活用したサツマイモの栽培とやねだんブランドの焼酎づくりなどに取り組み、収益を上げている。収益は、集落の教育や福祉活動に充てるほか、2006 年には、全世帯にボーナスを支給して大きな話題となった。全国からアーティストを住人として公募するなど、近年は 1 ターン U ターンで、人口増に転じている。



#### ●レインボーハイツ

築 30 年の従来型の特別養護老人ホーム「レインボーハイツ」は、ユニットケアで個別ケアを推進するとともに、介護が必要になっても地域で暮らし続けることを目指して、2007 年からは、北海道網走市内の 3 つの地区に、地域密着型サテライト特養と小規模多機能型居宅介護事業を合築型で整備し、地域展開を始めている。



#### ●釧路市社会福祉協議会

釧路市社会福祉協議会は、2005 年に、釧路市・阿寒町・音別町の 3 市町の社会福祉協議会が合併して誕生した。3 支所機能を活かして、2008 年度は、行政計画である「地域福祉計画」と連動した「地域福祉実践計画」を策定した。また、市町村社会福祉協議会では全国で唯一「夜間対応型訪問介護事業」にも取り組み、地域密着型の地域福祉やボランティア活動の推進に力を注いでいる。



#### ●釧路地区障害老人を支える会

（通称「たんぼほの会」）

釧路地区障害老人を支える会は、在宅で高齢者を介護している家族の切迫なる声から、1985 年に通称「たんぼほの会」として発足した。認知症の人とその家族の支援（ケアする人のケア）を目的とし、「元気サロン」や「介護家族のつどい」「よりあい」など、市民ボランティア活動の草分けとして幅広く活動している。

14:50 ~ 15:00 閉 会